

医療技術最前線

1回の採血で「がん」リスクを予測

アミノ酸の濃度を測定、早期発見へ

健康クリニック

がんのリスク（現在がんに罹っている、もしくはがんになりやすい状態）を予測する新しい血液検査が注目を集めています。

一九八一年以来、日本人の死因のトップは「がん」であり、早期発見、早期治療のため、健康診断の受診が広く呼びかけられています。現在、健康診断を受診すると、X線撮影、便潜血反応、超音波検査、さまざまな腫瘍マーカーの検査などが実施されます。「がん」の部位や種類により、

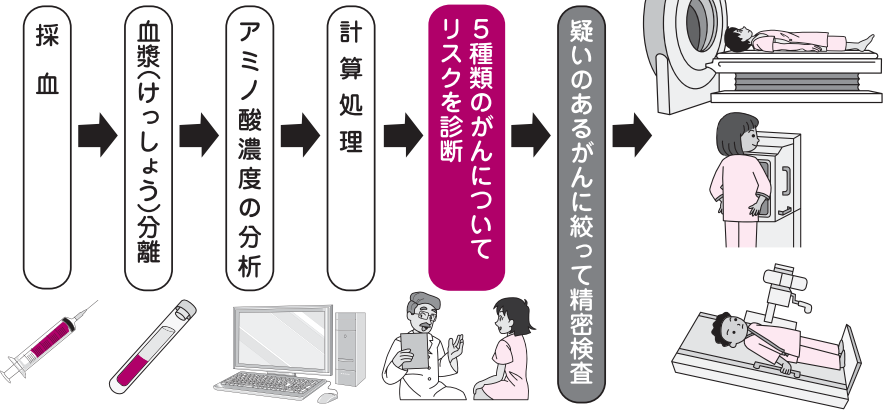
それぞれ検査をすることが理想ですが、受診者への身体的・経済的負担が大きいという課題もあります。

そこで、これらの課題を解決するため、複数のがんのリスクを同時に予測し、受診者の負担も少ない検査として開発されたのが「アミノインデックス（A-I-C-S）」です。A-I-C-Sは、身体たんぱく質を構成する約二十種類のアミノ酸の測定・解析でがんのリスクを予測する方法で、アミノ酸のバランスの変化からがんの可能性を調べるといえます。

「食育基本法」が制定され、今年度で七年目。「食」が人の心身形成に深く関わるものとして、各地で啓発活動が活発になってきて久しい。「食育」という言葉が耳慣れしてきたと感じる人も多いだろう。

六月は食育月間である。食育推進のため、国、県、市町などの地方公共団体、関係団体などが協力し、さまざまな催しが開かれる。内閣府の調査によると、「主に育に関心を持っている人の割合」は七十・五％と、計画目標の九十％に達していない状況である。（とも）平成二十二年十二月、内閣府調べ）これらの結果からも、今後への課題が見えてきた。

アミノインデックスによるがんリスクスクリーニング



大腸がん、前立腺がん、肺がん、乳がんのがんリスクの評価が可能です。一度で複数のがんの検査ができるため、放射線被爆や胃力メラなどの身体的負担や、検査費用の負担が軽減できると期待されています。

当協会でも、

六月は食育月間です

「食育基本法」が制定され、今年度で七年目。「食」が人の心身形成に深く関わるものとして、各地で啓発活動が活発になってきて久しい。「食育」という言葉が耳慣れしてきたと感じる人も多いだろう。

六月は食育月間である。食育推進のため、国、県、市町などの地方公共団体、関係団体などが協力し、さまざまな催しが開かれる。内閣府の調査によると、「主に育に関心を持っている人の割合」は七十・五％と、計画目標の九十％に達していない状況である。（とも）平成二十二年十二月、内閣府調べ）これらの結果からも、今後への課題が見えてきた。

「周知」から「実践」へ

国では、食育推進計画（平成十八年度～二十二年度）の第二次計画（二十七年までの五年間）を定めた。特に第二次計画では、前五年を踏まえて、「周知」から「実践」へ、というコンセプトのもと、次の三つの展開している。日頃から公

地域での取り組みが重要

重点課題に対する働きかけを推進する。（下表参照）

私たちの生活には欠かせない「食」。前述の重点課題にもあるとおり、成長盛りの子どもはもちろん、大人も食事に對する意識を持ち、食を選ぶ力を身に付

【食育の推進に関する重点課題】

- 生涯にわたるライフステージに応じた間断しない食育の推進
- 生活習慣病の予防および改善につながる食育の推進
- 家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進

内閣府「第2次食育推進基本計画」より

血液検査から読む病気の予防

2 血糖値を知ろう

血糖とは血液に含まれるブドウ糖のこと。その濃度を血糖値といいます。血糖値が高いと糖尿病や心筋梗塞、メタボリックシンドロームを引き起こす原因となるのはご存知の方も多いでしょう。では逆に、血糖値が低い場合はどうでしょうか。実は血糖値の裏にも重大な疾患が隠れていることがあります。

糖尿病をチェックしてみよう

低い場合も注意が必要

【健康診断・人間ドックなどでふるい分けのために実施】

- ①空腹時血糖検査（食事制限が必要）
- ②HbA1c（ブドウ糖が結合したヘモグロビン）
- 【上記の検査で異常が認められた場合に実施】
- ③経口ブドウ糖負荷試験（食事制限が必要）
- ④随時血糖検査

また、この4月からHbA1cの基準値が変更されました。今まで日本国内で採用していた基準HbA1c(JDS)と、多くの国で採用されている国際基準HbA1c(NGSP)に差があるため、わが国でも国際基準を採用する方向になりました。従来のHbA1c(JDS)では6.1%以上を「糖尿病の疑い」としていたのに対し、HbA1c(NGSP)では6.5%以上とされます。HbA1c(JDS)もHbA1c(NGSP)も本質的に意味するものは変わりません。決して診断基準や治療の目標値が緩くなるわけではないのです。ご自身の血液検査の結果を見る際は注意してください。

慢性的な高血糖を改善・予防するには、適度な運動やバランスの良い食事を摂ることが大切です。どちらも日常的に続けることが大切ですから、まずは無理をしない程度に努力してみましょう。また、必要に応じて専門医を受診し、適切な治療を受けましょう。

（臨床検査課 豊田 祐佳吏）

血液中のブドウ糖

血糖値が高くなると

HbA1c (ブドウ糖が結合したヘモグロビン)

血液中のHb (ヘモグロビン)

高血糖が続くと、赤血球中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したHbA1cの値が高くなる

最先端のオプション検査のご案内

肥満遺伝子検査

～DNAから考える肥満解消の新時代～

同じものを食べても太りやすい人とそうでない人がいます。これは一人ひとりの「体質」や「遺伝子」が異なるためです。日本人に関係が深い3種類の遺伝子（DNA）を調べて、あなたの体質をチェックしてみませんか？（隠れ肥満が心配な女性にも最適な検査です）

検査料金：6,300円（税込み）

【お申込は】財団法人広島県環境保健協会 健康クリニック
電話（082）232-4857

りんご型

脂肪がたまりやすいタイプ

洋なし型

脂肪の燃焼が苦手なタイプ

バナナ型

筋肉が付きにくいタイプ